

平成 28 年度 グループホーム『第一大山荘』事業報告

1. 入居者の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

	氏名	性別	年齢	入居年	日中活動先
1	Aさん	男	66	平成 14 年 10 月	四季の郷（生活介護）
2	Bさん	男	59	平成 14 年 10 月	大山ファーム（就労継続支援B型）
3	Cさん	男	64	平成 21 年 10 月	大山ファーム（就労継続支援B型）
4	Dさん	女	60	平成 22 年 5 月	パルステック工業株式会社就職

※H28 年度は女性 1 名退去され、第三大山荘に入居された。

2. 支援の状況

- ・生活の主体者は入居者であることを意識した支援を行なった。グループホームが他人との共同生活の場でもある以上、お互いにある程度のルールを設けることはあったが、「入居者一人ひとりの暮らし」を基本に、情報提供と自己選択・自己決定を尊重し、そして本人の生活スタイルや自由、要望に応えることを大切に支援を行った。
- ・めりはりのある日常生活送れるように、平日は日中活動先の大山ファーム、四季の郷、就労先のパルステック工業と連絡調整を行い、連携・協力して支援を行った。また、土日は地域で「自分らしく、普通の暮らし」ができるように、法人の行事や地域の行事・催し物の情報提供をおこなった。
- ・年間を通して、幸いにも事故の発生は見られなかった。ただ、自分一人で外出・行動ができる入居者なので、夕食後や遠方への外出時については不安なところがあった。また、感染症については、感染対策として、インフルエンザ予防接種及び日常的な予防に努めた結果、今年度はインフルエンザを発症する入居者の方は見られなかった。
- ・家族（成年後見人等）とは、面談や必要な連絡、帰宅等の機会を通して連携を保った。しかし、今年度から入居者全員宿泊を伴う帰宅は出来なくなった。
- ・地域の方々との関わりについては、自治会活動等の地域行事に積極的に参加した。地域の方も、行事参加への誘い掛けをして頂くなど地域住民の一人として接して頂いていることを感じている。
- ・職員のスキルアップについては、法人の職員研修や外部研修、グループホーム連絡会などに参加した。その研修内容については、職員会議内の時間を使い他の職員へ報告を行った。

3. 支援体制

- ・管理者、世話人（パート職員 1 名）、補職職員（1 名）が日常生活支援に当たり、地域生活を送る上で必要な買い物などの外出支援、食事支援、通院付添等の医療支援の他、相談事やメンタル面のケア、日中活動場所との連絡調整など多岐に渡った。また、バックアップ施設の四季の郷職員、日中活動先の大山ファーム職員、パルステック工業の担当者とも連携・協力して支援を行った。パルステック工業では、定年後の再雇用が決定した。

4. 健康支援

- ・毎日の検温と血圧測定、年 2 回の健康診断を通して健康管理に努めた。また、疾患のある入居者のために日常的な服薬管理、通院支援を継続した。また、日中活動先での歯科検診や年 2 回の健康診断の結果を踏まえ、必要な利用者の受診支援を行った。

5. 行事

- ・第一大山荘全体での行事は計画しなかったが、第二大山荘・第三大山荘や昴会の各事業所行事、地域の行事等に関する情報提供を行い、希望に応じて参加させてもらった。
- ・「第 17 回わかふじスポーツ大会」へ 3 名の入居者がボウリング競技に出場し、1 名の方が優勝。平成 29 年全国障害者スポーツ大会出場切符を手にした

6. 防災の取り組み

防災訓練実施状況は以下の通り。

4月12日	・法人防災訓練（安否コールの受配信訓練）
5月27日	・夜間の避難訓練
9月10日	・火災、停電対応・地震・風水害訓練
2月15日	・防災講習会（四季の郷との合同訓練）